

スイスAOC※エリア原産のニガヨモギを用いた菌・ウイルス抑制素材

The restraint material of the bacteria and the virus using a wormwood of Swiss AOC area origin

※AOC：「原産地統制名称（Appellation d'Origine Contrôlée）」

【国際特許成分】

ニガヨモギエキス・ニガヨモギ油

Artemisia Absinthium Extract・Artemisia Absinthium Oil

原料紹介資料

【作成日】 2021年08月05日

【更新日】 2021年12月20日

天然の防腐補助・ウイルス感染予防素材

スイス原産『ニガヨモギ』

《学名 Scientific name》

Artemisia absinthium

《英名 English name》

Wormwood

《科・属 Family・Generic name》

キク科 ヨモギ属

《使用部位 Use part》

地上部（花を除く）

《原産地 Place of origin》

スイス

ヌーシャテル州ヴァルドウトラヴェール



SDGs —Sustainable Development Goals—
(持続可能な開発目標) への取り組み

美商堂製薬株式会社は、国際社会の一員としてSDGs（持続可能な開発目標）の実現を目指し事業開発・商品開発を行います。

本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.

スイス原産『ニガヨモギ』

(1) 『ニガヨモギ』とは What is "Wormwood"?

《学名 Scientific name》 *Artemisia absinthium*
《英名 English name》 Wormwood
《科・属 Family・Generic name》 キク科 ヨモギ属

「ニガヨモギ (*Artemisia absinthium*)」は、ヨーロッパ、特にスイスやフランスでは、古くから薬用植物として活用されてきた、キク科植物の一種です。

その中でもリキュール用原材料としての歴史も古く、蒸留で得られた酒類の「アヴサン」が有名です。(下写真)



ニガヨモギ蒸留酒「アヴサン」
Wormwood distilled liquor "Absinthe"

"*Artemisia absinthium*" was being utilized as medical plant from the old days in Switzerland and France. That's one kind of composites. History as a raw material for liqueurs is old for "*Artemisia absinthium*". That's "Absinthe" of the alcoholic beverage the thing from which "*Artemisia absinthium*" is distilled gives.

本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.

スイス原産『ニガヨモギ』

(2) 『ニガヨモギ』の原産地 Place of origin of "Wormwood"

ニガヨモギ蒸留酒『アヴサン』発祥地 Wormwood distilled liquor "Absinthe" home

原産地『スイス：ヌーシャテル州ヴァルドウトラヴェール』

Place of origin 『Switzerland Neuchâtel The Val de Travers』



スイス：ヌーシャテル州ヴァルドウトラヴェール
Switzerland Neuchâtel The Val de Travers



スイス：ヴァルドウトラヴェール
「ニガヨモギ」畑
Switzerland : The Val de Travers
「Wormwood」 field

"The Val de Travers" is a AOC area of Wormwood distilled liquor "Absinthe". Therefore planning is growing only the pure wormwood by which the origin scientific name of the management of "Swiss absinthe society director" is "*Artemisia absinthium*" every year. The wormwood which grows naturally at an other country and a called plant are often harvested including a close relation plant besides "*Artemisia absinthium*". Therefore when using as a cosmetics ingredient, it'll be mentioned by the indication name in addition to the "Artemisia princeps Leaf Extract" etc..
※ Pay attention to the indication name, and please use a similar raw material in which a close relation plant is intermingled.

※近縁植物が混在する類似原料もあります。表示名称に注意してご使用ください。

ヴァルドウトラヴェールは、ニガヨモギ蒸留酒『アヴサン』のAOCエリアです。そのため、アヴサン栽培協会の管理のもと、学名が「*Artemisia Absinthium*」である純粋なニガヨモギだけ、毎年、計画栽培している。他国で自生するニガヨモギと呼ばれる植物は、「*Artemisia Absinthium*」のほか、類似近縁種も混在して収穫している場合が多い。この場合、化粧品成分として使用するには「ヨモギ葉エキス」等の他の表示名称で記載することが望ましいです。

本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.



(3)国際平和協力を前提とした『ニガヨモギ』 The "Wormwood" which premised on international peace cooperation

16 平和と公正を
すべての人に



☆Goal No.16 ⇒ 『平和と公正をすべての人に』

SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みとして、2018年から国際平和協力を前提として、『ニガヨモギ』を活用することに関し、スイス公的機関である「アブサン栽培協会」と協定を結び事業を進めています。



「アブサン栽培協会会長」「スイス・アブサン協会理事」
イヴ・キュリー氏との協定式



ニガヨモギを用いた国際平和協力に関する協定書



本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.



(3)国際平和協力を前提とした『ニガヨモギ』 The "Wormwood" which premised on international peace cooperation

SDGs—Sustainable Development Goals— (持続可能な開発目標) への取り組み

16 平和と公正を
すべての人に



☆Goal No.16-16a ⇒ 『平和と公正をすべての人に』

特に開発途上国において、暴力の防止とテロリズム・犯罪の撲滅に関するあらゆるレベルでの能力構築のため、国際協力などを通じて関連国家機関を強化する。

開発途上国における国際協力の体制を構築する

厚生労働省

バイオテロに使用される可能性のある病原体等の新規検出法の確立、及び細胞培養痘そうワクチンの有効性、安全性に関する研究班
『バイオテロ総論』より抜粋

【標準予防策】

- ・血液・体液・粘膜・正常でない皮膚は微生物を多く含む感染源と考える。
- ・患者と接する前後には、手指衛生を行う。
(芽胞を持つ細菌やある種のウイルスに対しては手指消毒用アルコールでは十分でない為、できるだけ流水による手洗いをを行う)
- ・血液・体液・粘膜・正常でない皮膚に触れる際には手袋を着用する。
- ・血液・体液などの飛沫が考えられる場合には、手袋・ゴーグル・マスク・ガウンなどの適切な防護具を着用する。
- ・鋭利物を取り扱う際にはリキャップせず、適切に廃棄する。
- ・呼吸器衛生/咳エチケットを行う。
(呼吸器症状のある患者には速やかにサージカルマスクを着用させた上で医療従事者もサージカルマスクやN95マスクなどを着用する)

【『Goal No.16-16a』への取り組み】

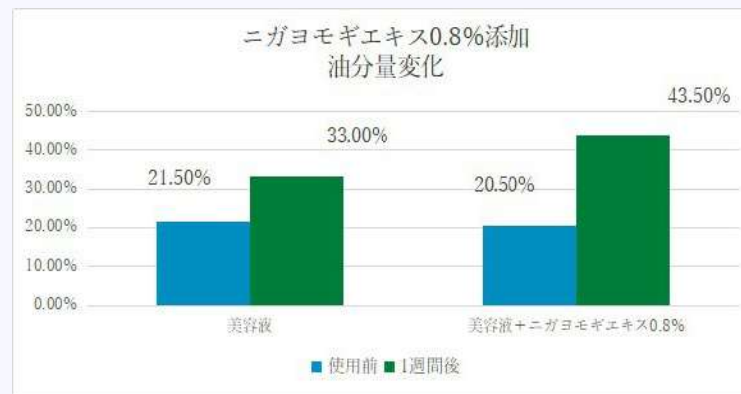
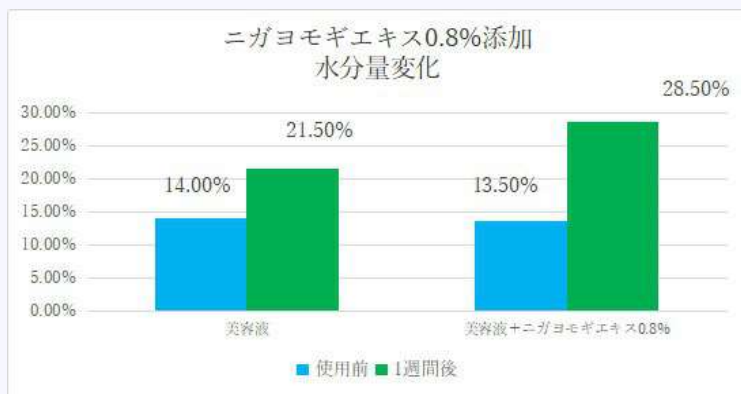
1. バイオテロが疑われる事案において初動で活用できる安全かつ効果的な感染防止素材の開発と製品化
2. 開発素材と公衆衛生的概念を開発途上国に啓蒙・普及

本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.

(4) 『ニガヨモギ』が有する機能性 The functionality the “Wormwood” has

i 保湿効果—The keeping moist effect—

美容液に「ニガヨモギエキス」0.8%添加した時の、1週間後の油分・水分量変化

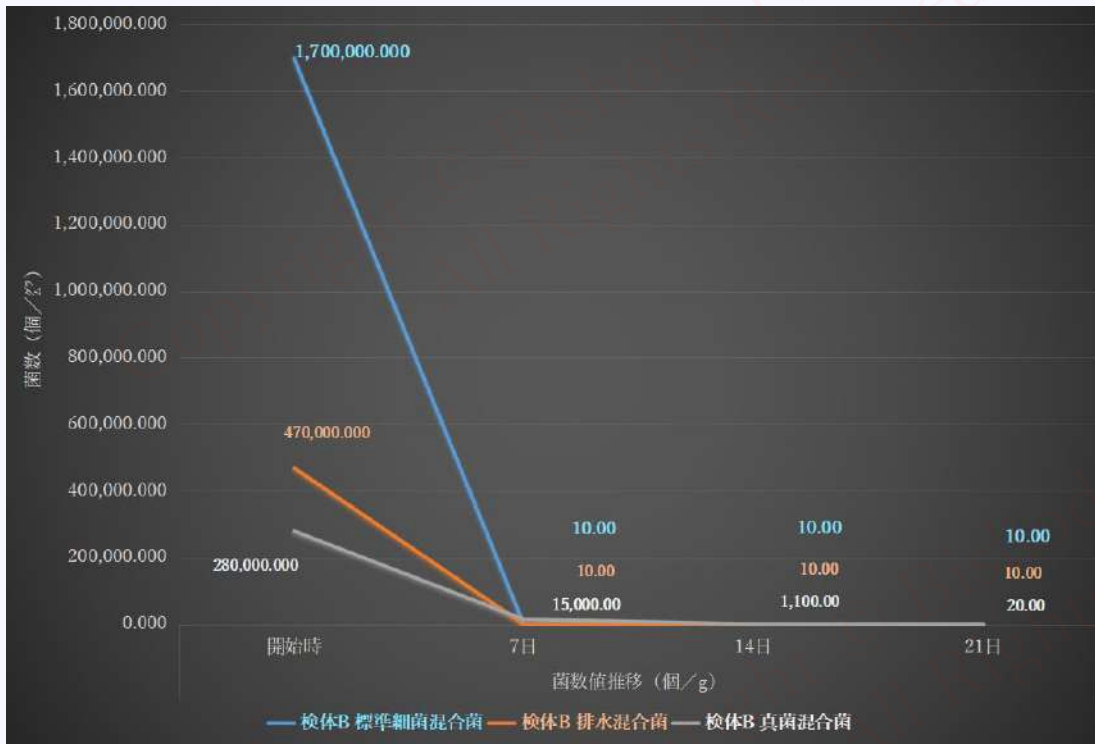


本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.

(4) 『ニガヨモギ』が有する機能性 The functionality the “Wormwood” has

ii 防腐補助効果—The help effect of the preservation from decay—

「ニガヨモギエキス」0.34%配合 シャンプー基剤における防腐補助作用



「ニガヨモギエキス0.34%」
「プロパンジオール0.4%」
※キャリアオーバー
「安息香酸Na」
「フェノキシエタノール」)

【接種菌】

- ①標準細菌混合菌
 - ・大腸菌 (Escherichia coli)
 - ・緑膿菌 (Pseudomonas aeruginosa)
 - ・黄色ブドウ球菌 (Staphylococcus aureus)
- ②排水混合菌 (厨房排水ろ液)
- ③真菌混合菌
 - ・クロコウジカビ (Aspergillus brasiliensis)
 - ・カンジダ (Candida albicans)
 - ・アオカビ (Penicillium citrinum)
 - ・オーレオバシディウム (Aureobasidium pullulans)

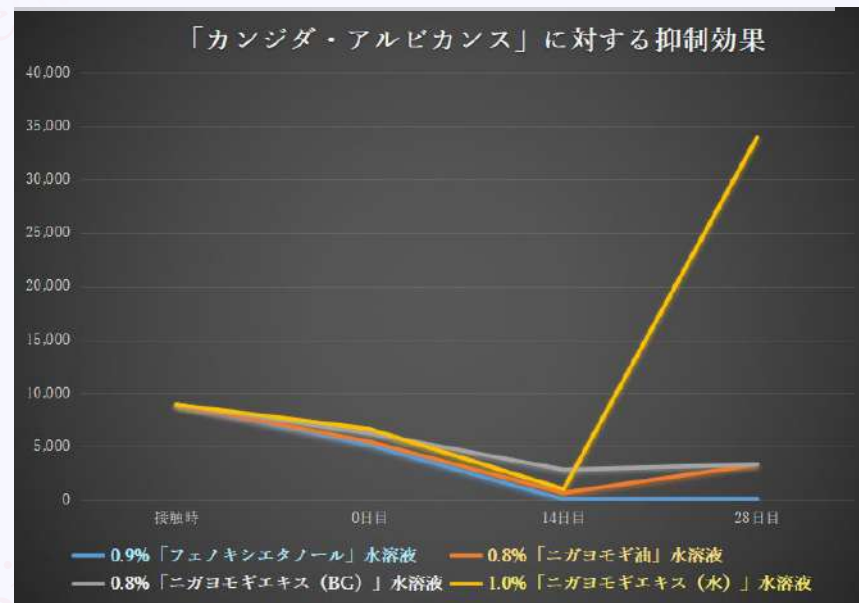
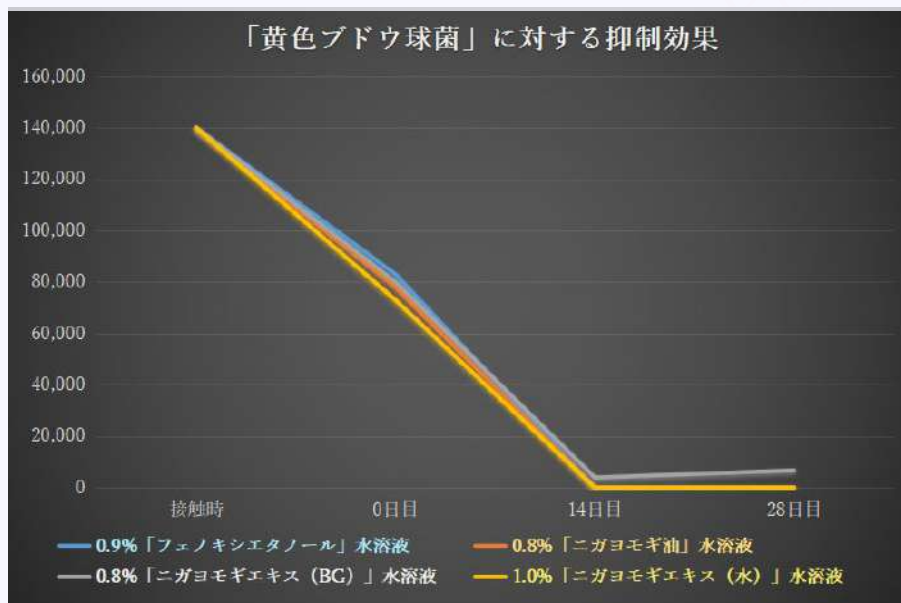
本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.

(4) 『ニガヨモギ』が有する機能性 The functionality the “Wormwood” has

ii 防腐補助効果—The help effect of the preservation from decay—

「ニガヨモギエキス」「ニガヨモギ油」単独での保存効力試験

「フェノキシエタノール」0.9%+水を対照として、「ニガヨモギエキス」水溶液、「ニガヨモギ油」水溶液、それぞれ単独での保存効力を確認



【各ニガヨモギ検体に該当する商品名】

- ・0.8% 「ニガヨモギ油」水溶液 ⇒ 「NP高純度アヴサンティウム」又は「NP高純度アヴサンティウム・クリア」
- ・0.8% 「ニガヨモギエキス(BG)」 ⇒ 「NPアヴサンティウムエキスCB又はVB」
- ・1.0% 「ニガヨモギエキス(水)」 ⇒ 「NPアヴサンティウムエキス-W」

本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.

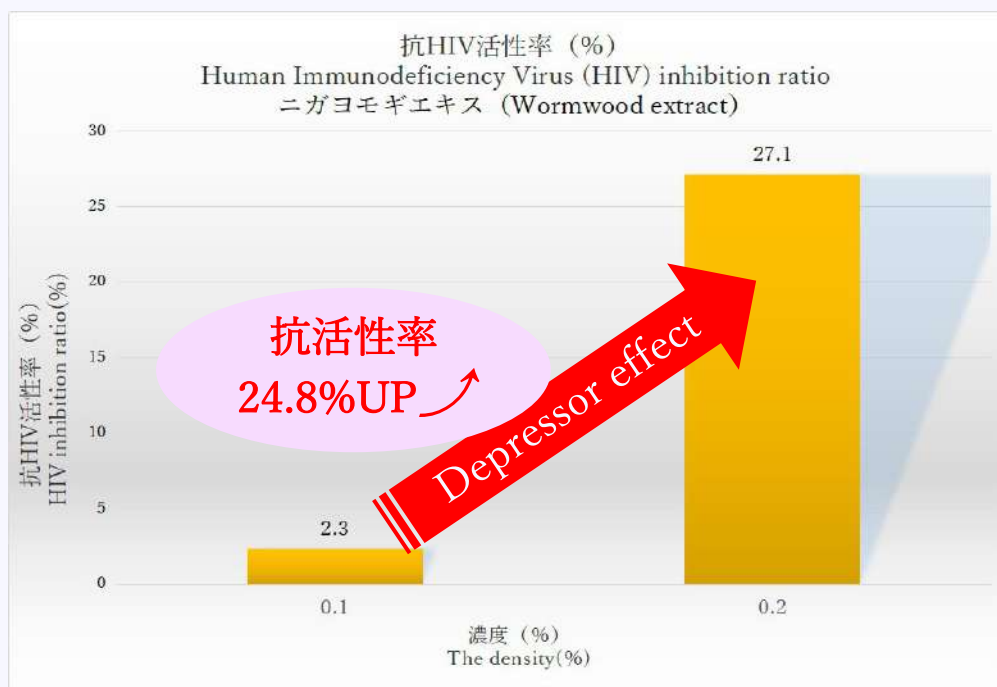
(4) 『ニガヨモギ』が有する機能性 The functionality the “Wormwood” has

iii ウイルス感染予防効果—The viral infection preventive effect—

国際特許素材

【特許第6761559号】—Patent No.6761559—

【発明の名称】ヒト免疫不全ウイルスの感染予防のための組成物



■対象となる植物

ニガヨモギ (*Artemisia absinthium*)

※ヨモギ (ガイヨウ: *Artemisia princeps*)

カワラヨモギ (*Artemisia capillaris*)

オウシュウヨモギ (*Artemisia vulgaris*)

ヤマヨモギ (オオヨモギ: *Artemisia montana*) 等

近縁種とは区別して、本エビデンスには含まれない。

■対象となる商品名

◇ニガヨモギ油

「NP高純度アヴサンティウム」

「NP高純度アヴサンティウム・クリア」

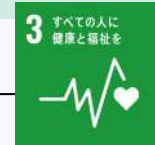
◇ニガヨモギエキス

「NPアヴサンティウムエキスCB又はVB」

■対象となる最終製品

皮膚または粘膜、陰茎、陰部に適用する以下の剤型
液剤、クリーム基剤、ゲル基剤、洗浄剤
避妊具

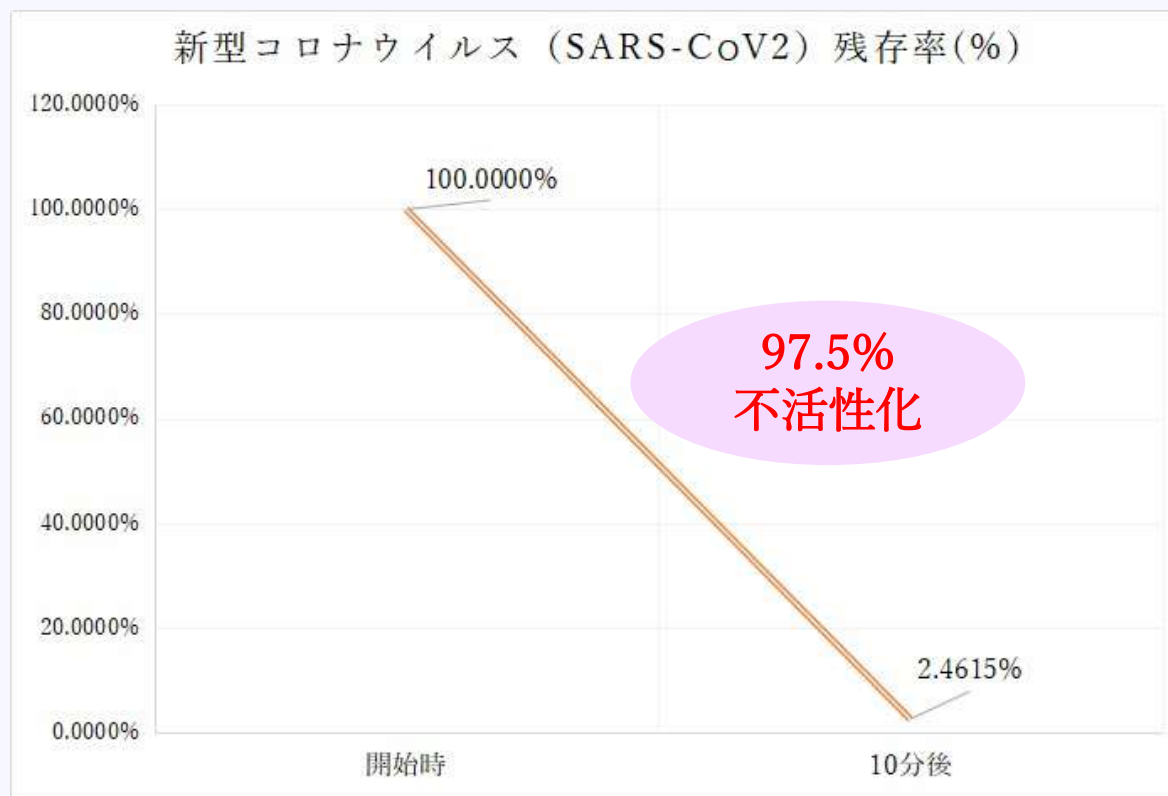
本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.



(4) 『ニガヨモギ』が有する機能性 The functionality the “Wormwood” has

iii ウイルス感染予防効果—The viral infection preventive effect—

新型コロナウイルス (Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2: SARS-CoV-2) 不活化効果



本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.



(4) 『ニガヨモギ』 が有する機能性 The functionality the “Wormwood” has

iii ウイルス感染予防効果—The viral infection preventive effect—

国際特許素材

【特許第6761559号】 — Patent No.6761559—

【発明の名称】 ヒト免疫不全ウイルスの感染予防のための組成物

■対象となるウイルス

ヒト免疫不全ウイルス (Human Immunodeficiency Virus : HIV)

※実験済みのウイルス (実験済みのエビデンス詳細については別途お問合せください)

- ・ A型インフルエンザウイルス (Influenza A virus)
- ・ ノロウイルス (ネコカリシウイルス : Feline calicivirus, FCV)
- ・ SARSウイルス (ネココロナウイルス : Feline coronavirus: FCoV)
- ・ ヒトコロナウイルス (Human coronavirus)
- ・ マウスコロナウイルス (Mouse hepatitis virus:MHV)

※本特許中に記載する文献上、感染予防が期待できるウイルス

【参考文献：特表2006-504787によるウイルス】

- ・ C型肝炎ウイルス (hepatitis C virus : HCV)
- ・ 牛ウイルス性下痢ウイルス (bovine viral diarrhea virus : BVDV)
- ・ 豚コレラウイルス (豚熱ウイルス : classical swine fever virus : CSFV)
- ・ 黄熱ウイルス (yellow fever virus : YFV)
- ・ デングウイルス (Dengue virus : DENV)
- ・ マラリア原虫 (Plasmodium属)

※『新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)』の不活性化効果確認済み (2021年7月)

本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.

スイス原産『ニガヨモギ』

(4) 『ニガヨモギ』が有する機能性 The functionality the “Wormwood” has

iii ウイルス感染予防効果—The viral infection preventive effect—

【特許第6761559号】—Patent No.6761559—

【発明の名称】ヒト免疫不全ウイルスの感染予防のための組成物

SDGs—Sustainable Development Goals—（持続可能な開発目標）への取り組み



☆Goal No.3-3.3、3b

⇒『すべての人に健康と福祉を』

国際平和協力の協定に基づく『ニガヨモギ』を、人類の公衆の健康に役立てることを目指す。



☆Goal No.5-5.6

⇒『ジェンダー平等を実現しよう』

国際人口・開発会議（ICPD）の行動計画及び北京行動綱領、並びにこれらの検証会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康及び権利への普遍的アクセスを確保する。

TRIPS協定と公衆の健康に関するドーハ閣僚宣言

【Goal No.3-3.3】

2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。

【Goal No.3-3b】抜粋

～また、知的所有権の貿易関連の側面に関する協定（TRIPS協定）及び公衆の健康に関するドーハ宣言に従い、安価な必須医薬品及びワクチンへのアクセスを提供する。～

【『Goal No.3-3.3、3b』への取り組み】

ニガヨモギ由来成分を簡便に使用できる感染症予防素材として製品化、さらに啓蒙、普及

北京宣言及び行動綱領実施のための更なる行動とイニシアティブ

以下、

第2章 行動綱領の12重大問題領域実施に関する成果と障害

【C：女性と健康—12：障害】より抜粋

男女の力関係が平等でなく、女性が安全で責任ある性習慣を主張する権限を持たないことや、また特に女性の健康を守るニーズに関する男女間のコミュニケーションや理解が欠如しているといったことが障害となって、HIV/AIDSを含む性感染症の有病率が高まるなど、女性の健康が脅かされており、またとりわけ予防に関連するヘルスケアや教育への女性のアクセスが難しくなっている。

【『Goal No.5-5.6』への取り組み】

ニガヨモギ由来成分による性感染症予防素材開発を通じて、ヘルスケアやそれに付随する教育の啓蒙

本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.

(5) 『ナチュラル認証※1』 取得

原料製品名「NPアヴサンティウム-AV-Co2」

Natural origin content（自然由来指数）100%の認証を受けました。



【用途】

1. 化粧品（保湿剤、皮膚コンディショニング剤、防腐補助剤、抗炎症補助剤など）
2. 日用品、雑貨（除菌補助剤、ウイルス抑制補助剤など）
3. 工業用（抗菌加工剤、抗ウイルス加工剤など）
4. 農業用（病害虫予防補助剤など）

【原料組成】

化粧品全成分表示名称	INCI	中文名称	EC Code
ニガヨモギ油	Artemisia Absinthum Oil	中亚苦蒿（ARTEMISIA ABSINTHIUM）油	284-503-2
ニガヨモギエキス	Artemisia Absinthum Extract	中亚苦蒿（ARTEMISIA ABSINTHIUM）提取物	284-503-2
BG	Butylene Glycol	丁二醇	203-529-7
エタノール	Alcohol	乙醇	200-578-6

※1. 『ナチュラル認証』

ISO16128※2に基づいて評価された国際認証

※2. 『ISO16128』

“ISO16128-2:2017”は、2010年International Organization for Standardization（ISO: 国際標準化機構）のTC217（「化粧品」に関する技術委員会）の、ワーキンググループ4（ISO/TC217 WG4 terminology:用語）において、化粧品の自然及びオーガニックに係る基準の検討が始まり、2016年2月にはISO 16128 Part 1「原料の定義」、2017年9月にはPart 2「原料及び製品の基準」がInternational Standard(IS: 国際標準)として制定されました。

そして、その化粧品が自然化粧品あるいはオーガニック化粧品かどうかを判断するためのものではなく、化粧品の自然指数・オーガニック指数等をそれぞれ定義し、化粧品中の自然及びオーガニック成分の比率の計算方法を示すものです。

本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.

(7)掲載記事

「薬事日報」掲載記事（第12452号 2021年05月12日）『HIV感染予防効果に関する記事』



本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.

(7)掲載記事

『健康産業新聞』掲載記事（第1721号2021年8月4日）『新型コロナウイルスの不活性化に成功』



開発から20年、ニガヨモギ成分でSARS-CoV2を97.5%不活化 美商堂製薬

美商堂製薬(株) (東京都江戸川区、☎03-6638-9588) は、スイス産のニガヨモギを原料とした植物エキス単体で、新型コロナウイルス (SARS-CoV2) を97.5%の不活化を確認した。第三者機関において『NPアヴサンティウムAV-Co2 (ニガヨモギ油・ニガヨモギエキス混合液)』を用いた新型コロナウイルスに対する評価試験 (TCID50/mL) を行った結果、10分間でSARS-CoV2の97.5%のウイルス不活化効果が確認された。

同社が使用しているニガヨモギはスイスのアヴサン栽培協会が「Artemisia absinthium」の学名である品種を毎年計画栽培した原料のみを配合している。同協会との共同開発で、独自の乾燥技術により、新しい原料として研究開発を行った。

スイスでは生活に根付いた伝統ある薬草として親しまれているという。

同社の中村社長は、20年ほど前にニガヨモギを原料とするスイスの蒸留酒アブサンを飲んで以来、ニガヨモギの抗菌効果等に注目。20年近く、毎年何度もスイスの生産地に出向き、製品開発を行ってきた。試行錯誤を重ねながら、時代のニーズに合った製品開発に役立てたいと考えていた。昨年9月にヒト免疫不全ウイルス (HIV) の抑制効果の試験も行い特許も取得。そこで未だ、終息のメドが立っていない新型コロナウイルスの感染拡大に貢献できるか仮定し、同試験に踏み切った。「ニガヨモギ原料を使ってアルコールに対して過敏症や宗教的に使えない人向けに製品開発できるのでは」と期待を掛ける。

本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.

(7)掲載記事

『健康産業新聞』掲載記事（第1730号2021年12月15日）『ニガヨモギ成分でSARS-CoV2を97.5%不活化』



自社工場はISO22716認証取得
『サイトイ血幹細胞培養液』など、多様な独自原料
日本天然物研究所

興日本天然物研究所(本社:東京都中野区)は、自社工場(埼玉県入間市)で、スキンケア化粧品や医薬部外品を中心に化粧品、医薬部外品の委託製造を展開している。

ISO22716(化粧品GMP)認証を取得した自社工場は、1,000L開放式攪拌槽(化粧水・美容液)、真空乳化装置(クリーム・ジェル)、乾燥滅菌機、充填機(化粧水・美容液3~1,000ml)、ホッパー式充填機(クリ

ム・ジェル)、超音波式チューブ充填機、4方サンプル充填機、汎用型自動充填機、回転式自動充填機(クリーム・ジェル)シュリンク、ラベラー機などを完備する。

また、デジタルマイクロコープ、液体クロマトグラフィー(HPLC)、真空化装置、ホモミキサーなど揃えた研究開発室を所有。顧客ニーズに応じた処方組み、試作などに対して迅速に対応できる。

さらに、グループ会社の原料メーカーを通じてオリジナル原料を使用した製品開発ができることも強み。『発酵熟成プラセンタエキス』『脂溶性プラセンタエキ

ス』『発酵熟成コラーゲン』『Kコンプレックス』『羊膜エキス』『濁河原良泉水』『イワベンケイ根エキス』『純良シードオイル』『ロコモ発酵液&酒粕エキス』『ピディオキシジル1%液』『酵母331(サミー)株』——など、特色あるオリジナル原料を多数ラインアップする。

新原料では、『サイトイ血幹細胞培養液』の取扱いを開始。20~30代の日本人ドナーの出産において得られた脐帯血から幹細胞のみを選び出し、培養した上清から細胞を取り除いた、『Human Cord Blood Stem Cell Conditioned Media』としてINCI取得済



※、表示名称は「ヒトサイトイ血幹細胞培養液条件培養液」。
各原料の持長や有用性試験をHPの専用サイトで紹介している。

スイス産ニガヨモギ抽出物、
防腐補助化粧品・食品に採用
美容堂製薬

美容堂製薬(東京都江戸川区)は、世界の天然素材を活用した化粧品のODM、OEMを手掛ける。最近では、スイス原産のニガヨモギ原料の開発に注力し、「NPアヴサンティウム」シリーズ名でエビデンスを取得。今夏、第三者機関において「NPアヴサンティウムAV-Co2(ニガヨモギ抽出・ニガヨモギエキス混合液)」が新型コロナウイルスに対する評価試験(TCID50/ml)を行ったところ16分間でSARS-CoV2の97.5%のウイルス不活化効果が確認された

(国際特許第6781559取得)。原料は、食品や化粧品の防腐補助剤に採用されており、化学系防腐剤の使用量を減らすことができる。先に、菓業の防腐サポート剤に採用された。

同社が使用しているニガヨモギはスイスのアヴサン栽培協会の「Artemisia absinthium」品種を毎年計画栽培した原料を乾燥させて輸入している。同協会との共同開発で独自の乾燥・抽出技術により新原料として製品化し、国内供給している。

中村社長は、20年ほど前にニガヨモギを原料とするスイスの蒸留酒アプサンを

飲んで以来、その抗感染効果に着目。以降、毎年スイスの生産地に赴き、製品開発を行ってきた。興のニーズに合った製品開発に試行錯誤の結果、「ニガヨモギ原料を使ってアルコール過敏症や宗教的に使えない人向けに製品化できた」と話す。

フランス国内に非営利組織「国際平和科学者協議会」を設立し、健全なニガヨモギの流通活動に従事している。活動の一環はSDGの3つの項目に当てはまる。また、フランス拠点では、ヨーロッパ原産の素材開発や輸出入のサポートにも対応している。

ファブレスメーカーでありながら20年



にわたる化粧品・医薬部外品の提携工場と共同開発をしてきた。研究開発から製造、特許申請、薬事対応など取引先のコンセプトに合わせたODM、OEMが増えてきたという。

本規格書中の機能性情報は、最終商品の効能効果を保証するものではありません。
The functional information in these written standards does not guarantee the effect of goods.